

カイゼンにおけるプロセスとは、意図した結果を生むための一連の活動のことである。そしてプロセス重視の考え方では、求める結果をあらかじめ定義することから始め、適切な資源や情報をインプットとして確保し価値を生むやり方と、間違いやロスが生じない管理を設計すること

カイゼンの原点回帰(2)

とで期待する結果の再現性を高めることを大切にす

果を実現するには、異なるプロセスを新しく設計することが必要となる。ビジネスの変革やイノベーションを実現しようとするときには、プロセス重視の考え方が求められる。

果を実現するには、異なるビジネスを利用するのと同じプロセスに思いを巡らすことが必要となる。ビジネスの変革やイノベーションを実現しようとするときには、プロセス重視の考え方が求められる。

期待を持って 自社の提供する商品やサービス

最近、DX(デジタルトランスフォーメーション)が注目を集める。デジタル技術を生かしてビジネスや組織の変革を行い、競争上の優位を生み出す取り組みだ。電子的なネットワーク、高度なソフトウェア、ロボット制御やセンサー機器などデジタル技術

大きな変革を成功させるには、日頃からカイゼンに取り組む、変えること、変わることを当たり前とする組織風土があるとよい。次回、カイゼンが人と組織を育むことについて述べる。(毎週木曜日に掲載)

プロセス重視によるDX実現

小さなカイゼンでは、まず何かを変えて試してみることよ。だが大きなカイゼンになるほど、自分が関わる仕事の目的や他部門との関連まで踏まえたプロセスを考慮する取り組みが必要になる。また商品やサービスのDXでは、顧客やユーザーがどのような



浅井 太郎(あさい たるう) コンサルティング事業本部経営コンサルティング第2部マネージャー

によって可能となることは、①人の労力を代替えすること、②時間、場所、規模の制約をなくしたビジネスを可能にすること、③大量のデータや定性データから価値情報を生み出すこと、④外部とのつながり方を変えて市場や顧客と新たな関係を築くこと、など

べき自社のビジネスや組織の新しいイメージを描ききれない企業が少なくない。ビジネスや組織のイメージを具体化したものこそがプロセスであり、変革を実現するには技術や機器の導入だけでなく、新しいプロセス自体を生み出す必要があるのだ。そして変革を成功させるには、新しくなったプロセスを定着させるためのカイゼンも不可欠だ。

